



# 西中学校通信 第11号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

## おもしろき こともなき世を おもしろく すみなすものは 心なりけり

幕末という国中が不安だった時期に活躍した高杉晋作<sup>たかすぎしんさく</sup>の辞世<sup>じせい</sup>の句とされています。高杉晋作は、自分の人生を振り返り「おもしろきこともなき世をおもしろく」と詠みました。しかし、そのあとが続かなかったところ、看病していた女流歌人が「すみなすものは心なりけり」と続け、高杉は「おもしろい」と言って亡くなったと伝えられています。



「**おもしろきこともなき世をおもしろく**」とは、「おもしろいことがない世の中だけど、それをおもしろくすることが大切なのだ。」という意味で、「**すみなすものは心なりけり**」は、「結局は、自分の心しだいだ」という意味です。

2学期が始まりましたが、新型コロナウイルスの感染状況は、これまでで最悪の状況となっています。体育祭が中止となり、今後の学校行事も実施できるかどうか、わからなくなりました。始業式で説明したとおり、学校生活でも、新たな制約・制限が増えました。

このような状況は「おもしろきこともなき世」かもしれませんが、制約された生活の中でも、許された環境の中で「おもしろきこと」を見出してほしいと思います。皆さんの「すみなすものは心なりけり」に期待しています。